愛の輪 愛のいす
MATSUNAGA
株式会社 松永製作所
〒503-1272 岐阜県養老郡養老町大場484
TEL 0584-35-1180(代) FAX 0584-35-1270
URL http://www.matsunaga-w.co.jp

2004.6

WHEEL 車いす CHAiRS

取扱説明書

保存用

《取扱説明書》保証書付

このたびは、松永製作所製品の車いすをお買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書には、お客様が安全に正しくご使用していただくために必要な注意事項や正しい使い方が説明されています。
ご使用になる前には、必ずお読みください。
また、保証書が付いておりますので紛失しないように大切に保管してください。

愛の輪 愛のいす
MATSUNAGA

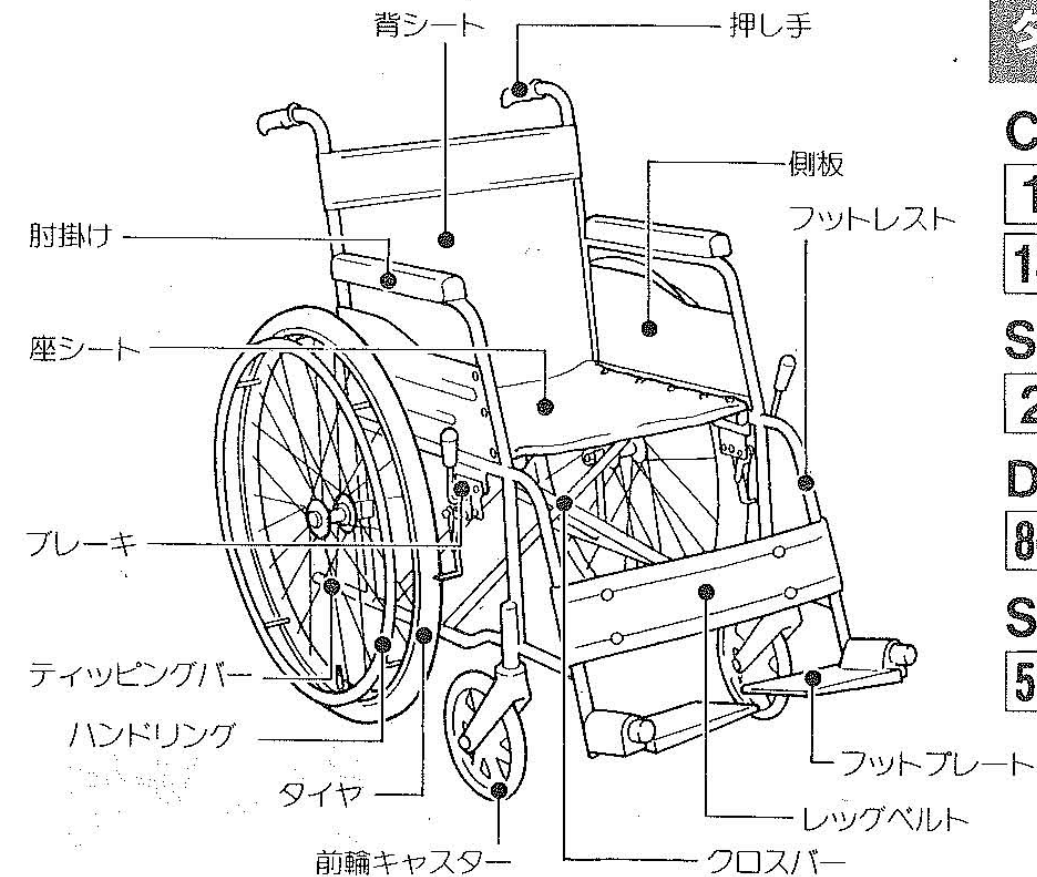
目　次

● ご使用まえに ●

この度は、松永製作所の製品をお買い上げ頂きありがとうございます。製品につきましては検査後出荷させて頂いておりますが、ご使用まえに次のご確認をお願いいたします。

1. 箱から出されたら表面のキズ、フレームのゆがみが無いか、或いはダンボール箱の内外にキズが無いか確認してください。
2. タイヤを指で押して空気が入っているかご確認ください。（ブレーキの制動に影響します。）

もし異常があれば、すぐにお買い上げの販売店、または松永製作所にご連絡ください。

1. 車いすの各部名称

背もたれ固定式タイプ（自操式）

CMシリーズ
1 3 5 10 12
13 15 16 18

STシリーズ
2

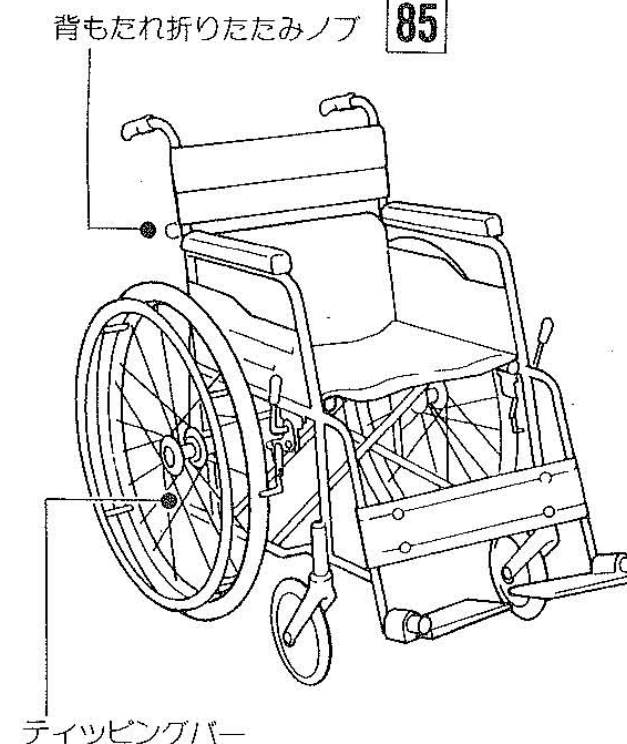
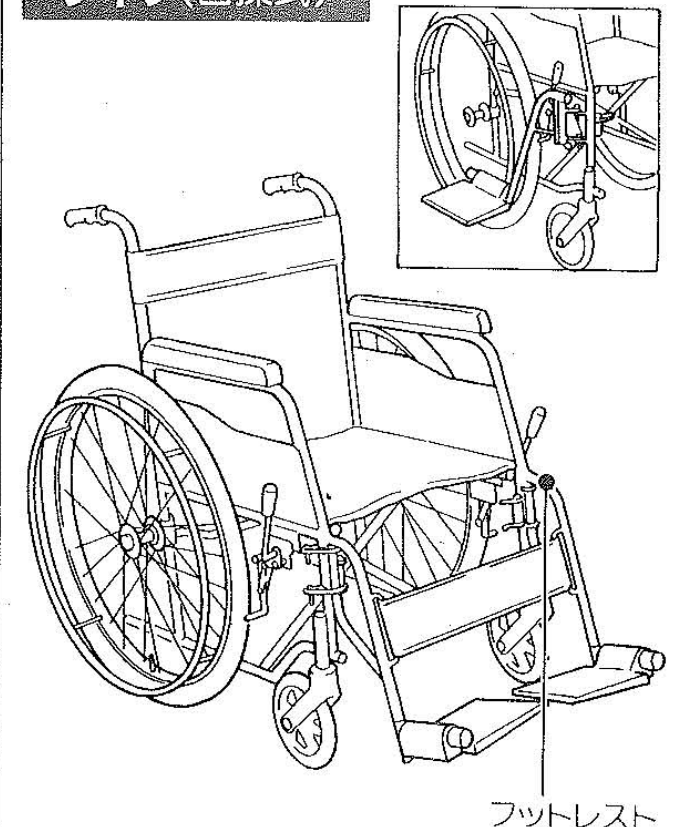
DMシリーズ
80 90

SCTシリーズ
50

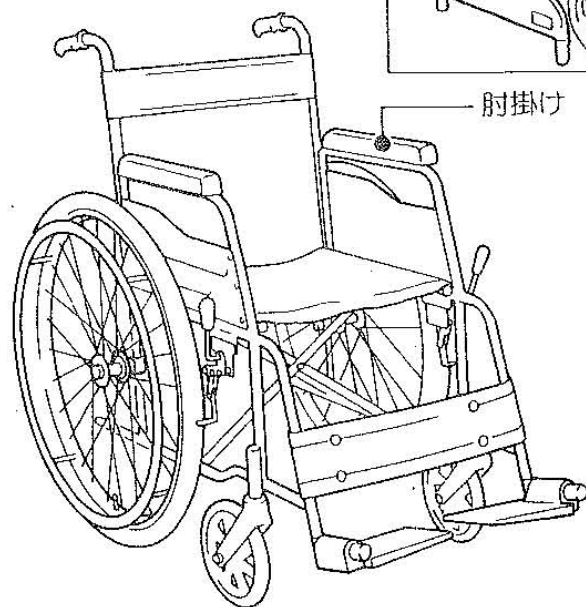
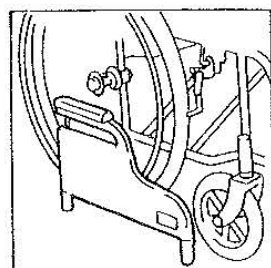
背もたれ折りたたみタイプ（自操式）

CMシリーズ
2 11 14 17
30 80 81 84
85

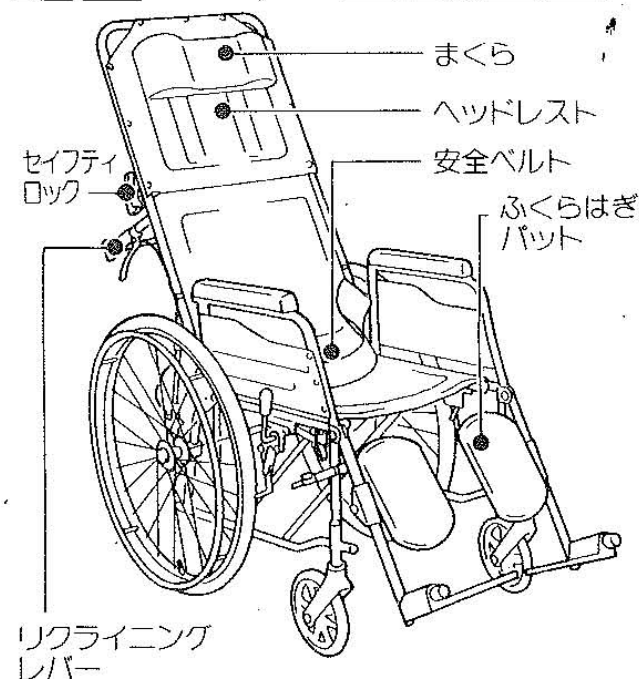
フットレストスイングアウト式タイプ（自操式）

CMシリーズ
25 29 30

肘掛け取り外し式タイプ(自操式)

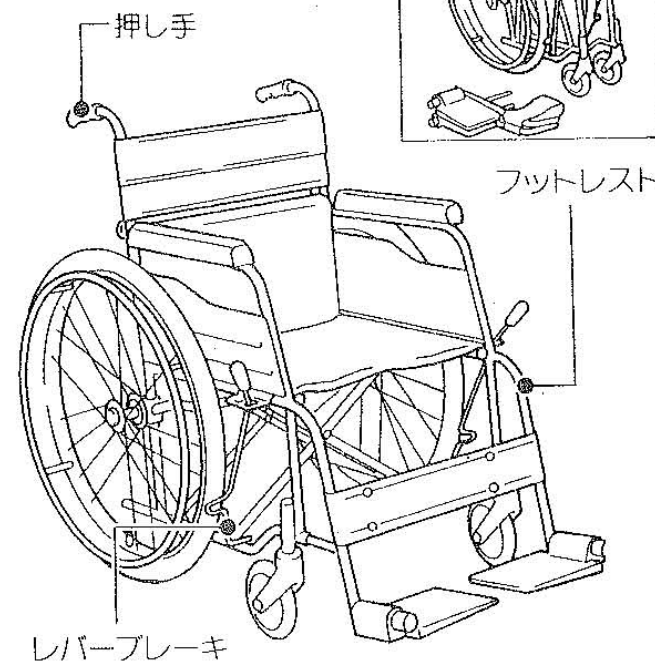
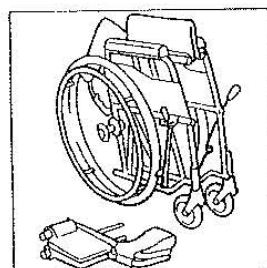
CMシリーズ 20 21

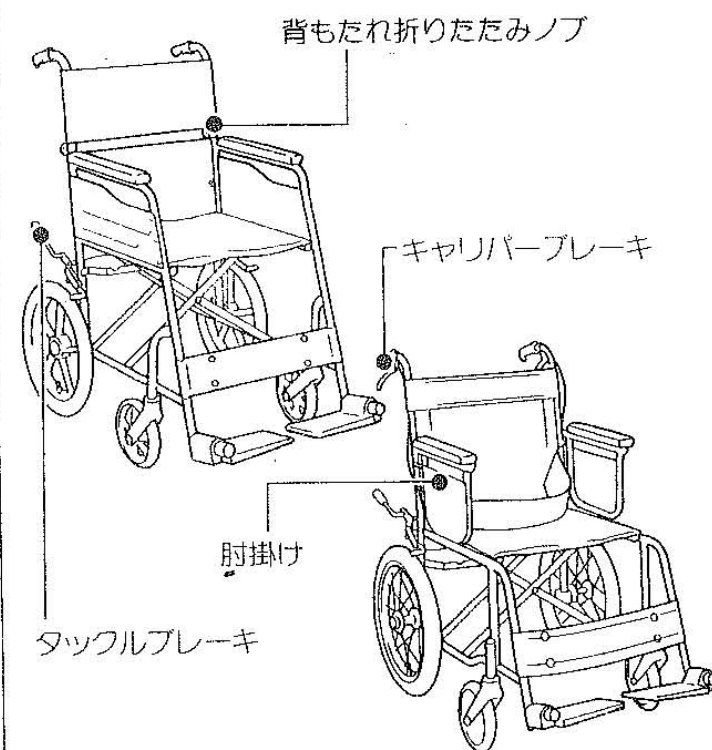
エレベーティングタイプ

CMシリーズ 22 23

リクライニングタイプ

CMシリーズ 50 52 54 56

押手脱着タイプ

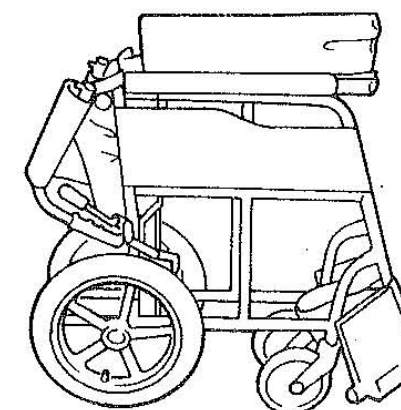
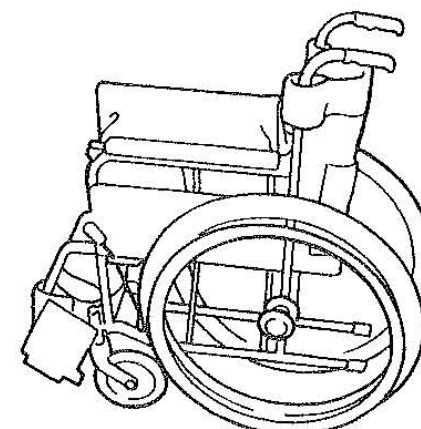
フットレスト脱着タイプ

CMシリーズ 80 81

介助車タイプ

CMシリーズ 70 71 73

2. 梱包状態

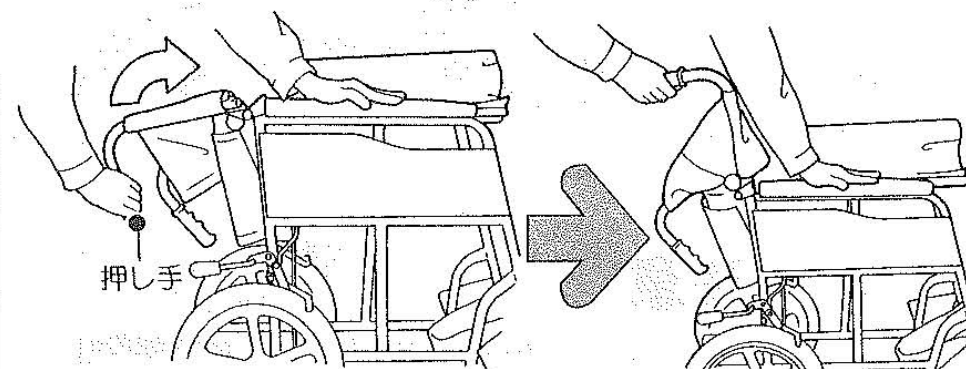
背もたれ固定タイプ

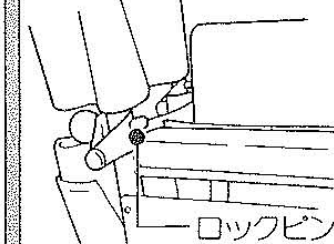
背もたれ折りたたみタイプ

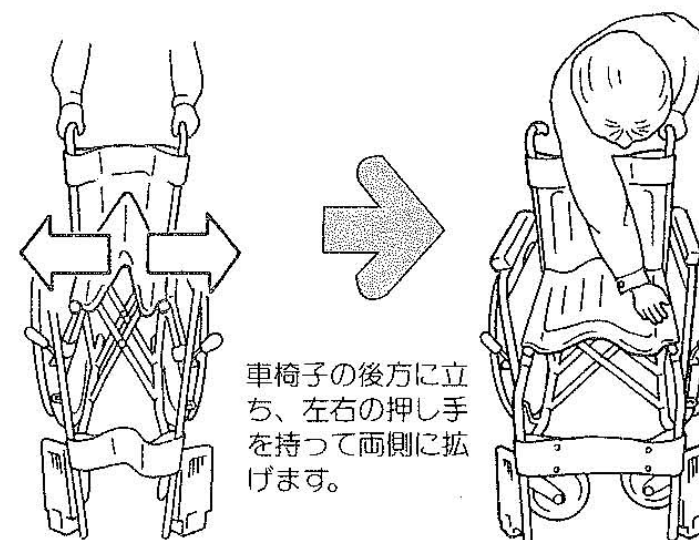
付属品

取扱説明書

3. ご使用方法及び、操作方法

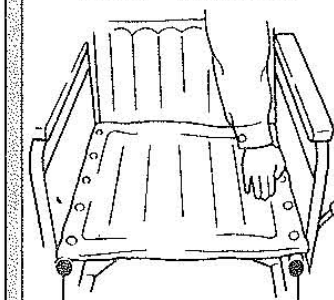
車いすの拡げ方法

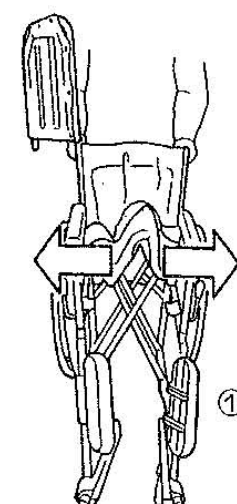
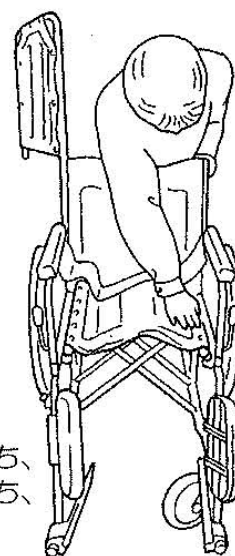
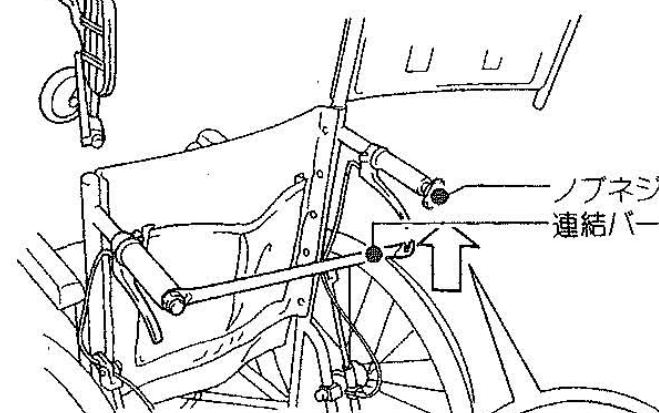
【背もたれ折りたたみタイプ】

①車いすの押し手部分を持ち、矢印の方向へ、持ち上げてください。
②片側の手で、車椅子が動かないように、ささえていてください。

⚠ 注意

ロックピンが、カチッと音がして完全に、出ているのを確認してください。

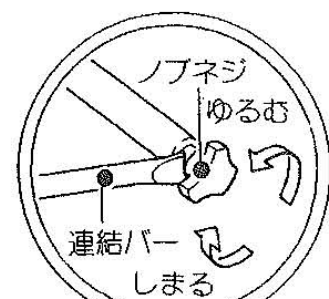
【背もたれ固定タイプ】

車椅子の後方に立ち、左右の押し手を持って両側に拡げます。

片方の押し手を持ち、座面を手で下へ押し下げると、シートが拡がります。

⚠ 注意

座パイプの横や下へ手や指を入れないように注意してください。

【リクライニングタイプ】

①車椅子の後方に立ち、左右の押し手を持ち、両側に拡げます。

②片方の押し手を持ち、座面を手で下へ押し下げると、シートが拡がります。しっかりと固定してください。

ノブネジ
連結バー

③押し手の連結バーを右側のノブネジに下方より入れ、ノブネジを右側にまわし固定します。

ノブネジ
ゆるむ
連結バー
しまる

ノブネジ
連結バー

⚠ 注意

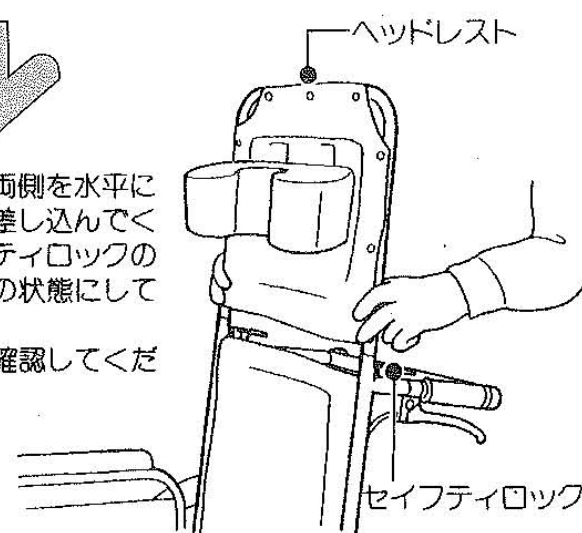
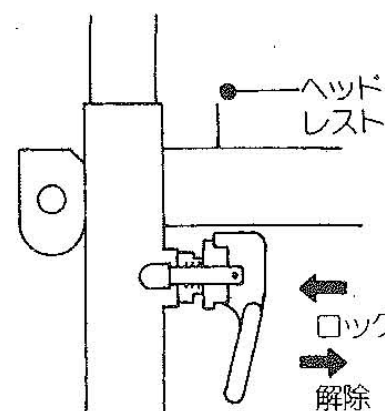
ノブネジは、完全に締めて固定してください。

ヘッドレスト

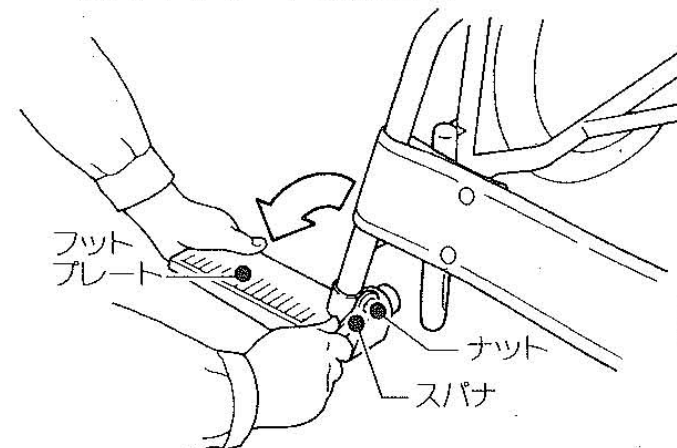
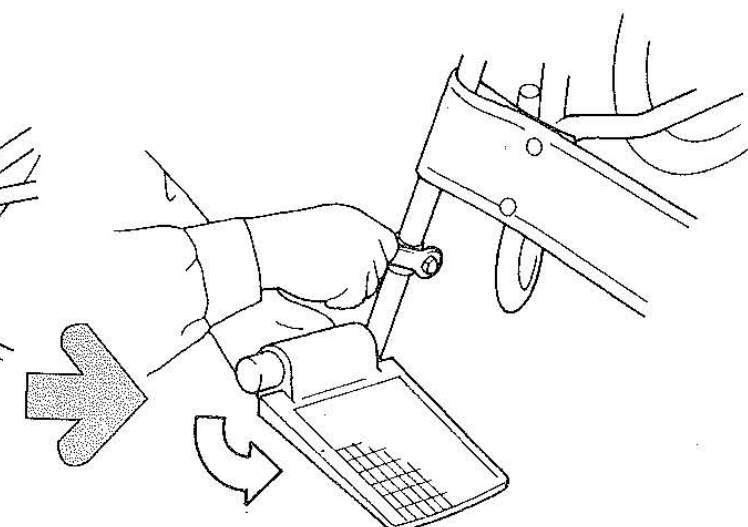
④ヘッドレストの両側を水平に持ちパイプ部を差し込んでください。セイフティロックのレバーをロックの状態にしてください。
必ず、ロックを確認してください。

セイフティロック

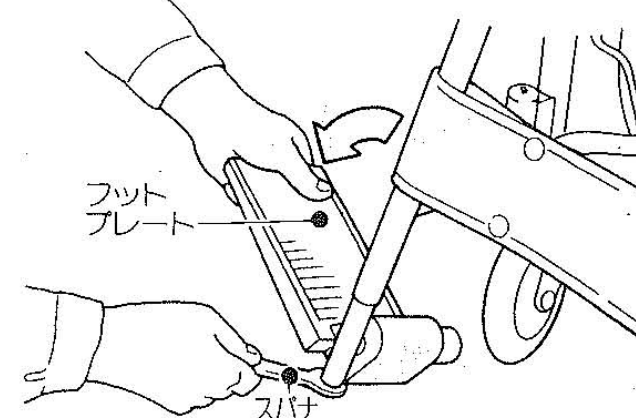
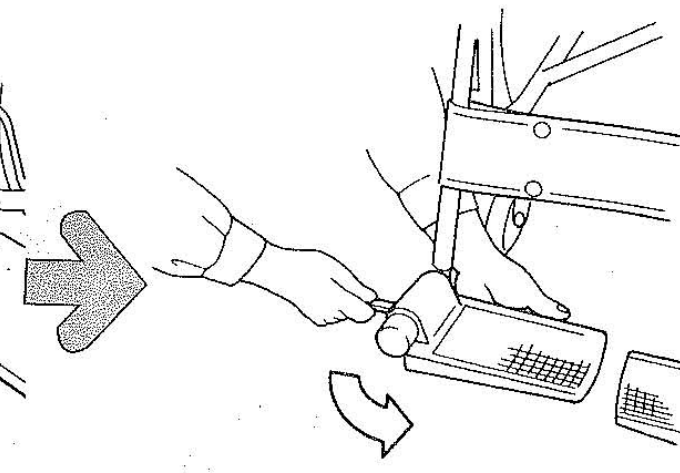
⚠ 注意

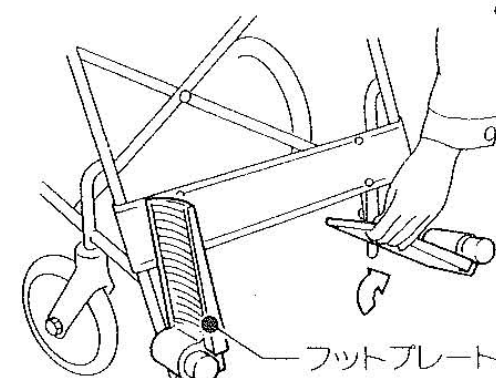
ヘッド
レスト
ロック
解除

ロックをしないで使用すると、ヘッドレストがはずれ、転倒してケガをする原因になります。

【フットプレートの調整1】

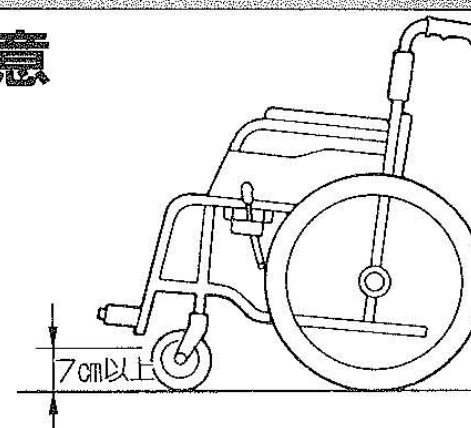
フット
プレート
ナット
スパナ

①フットプレートを外側にたおし、付属品のスパナにてステップパイプ横のナットをゆるめてください。

②フットプレートを矢印方向へ回転し、長さ調節をおこない、ステップパイプ横のナットを完全にしめてください。

【フットプレートの調整2】

フット
プレート
スパナ

①フットプレートを外側に少したおし付属品のスパナにて、ステップパイプの先端ボルトをフットプレートが少し動くところまでゆるめてください。

②フットプレートを矢印方向へ回転し、長さ調節をおこない、先端ボルトを完全にしめてください。

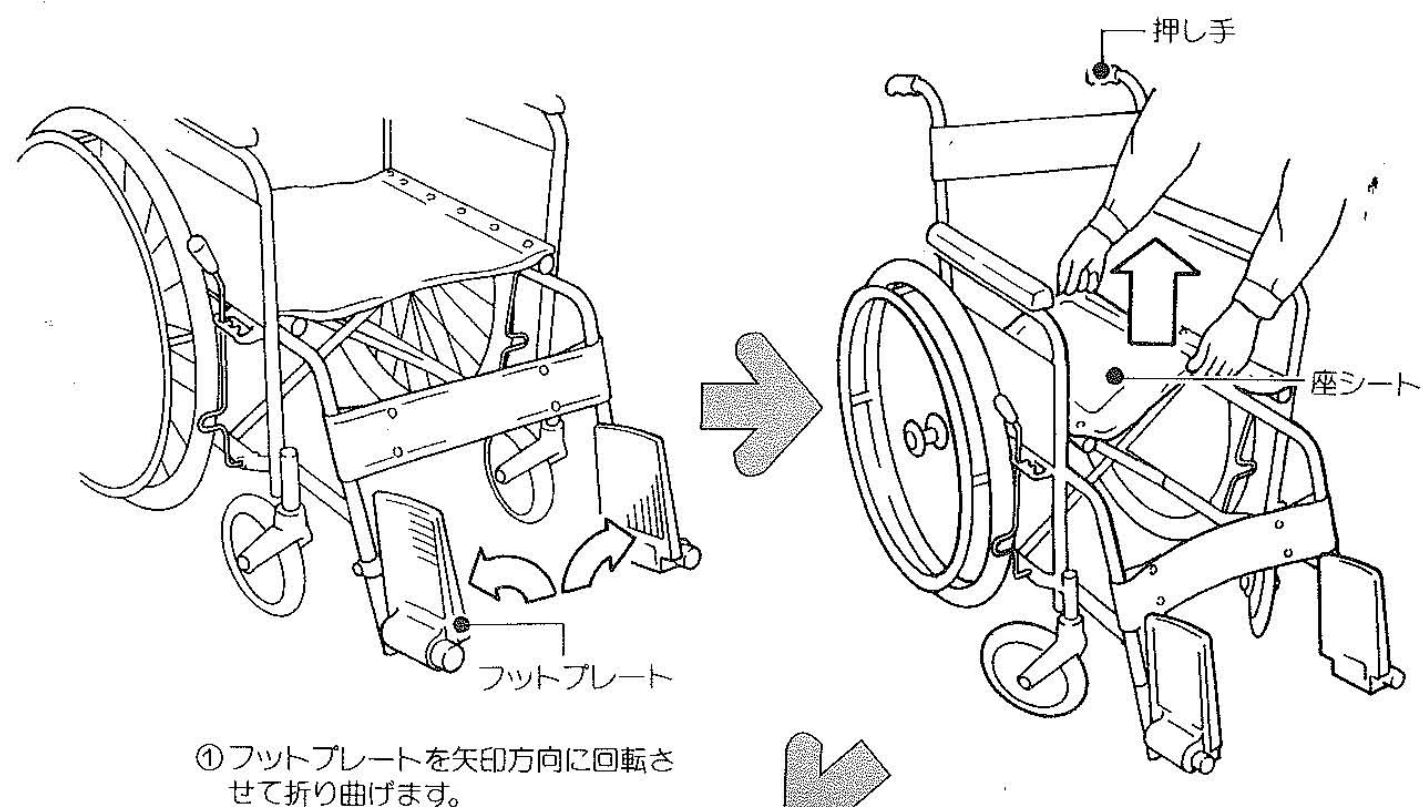
⚠ 注意

フットプレート

車いすに乗り込んだり、車いすから降りたりするときは、まずフットプレートを上げて乗り降りしてください。

7cm以上

フットプレートの高さは地面より7センチ以上でご使用ください。
低すぎると凹凸路面や障害物にフットプレートがあたり、転倒する危険があります。

車いすの折りたたみ方 【背もたれ固定タイプ・背折れタイプ】

①フットプレートを矢印方向に回転させて折り曲げます。

②座シートの前方と後方の中央を同時に持ち上げて、次に押し手を合わせてください。

背もたれ折りたたみタイプは、固定タイプの①、②を行ったのち③、④の手順に入ってください。

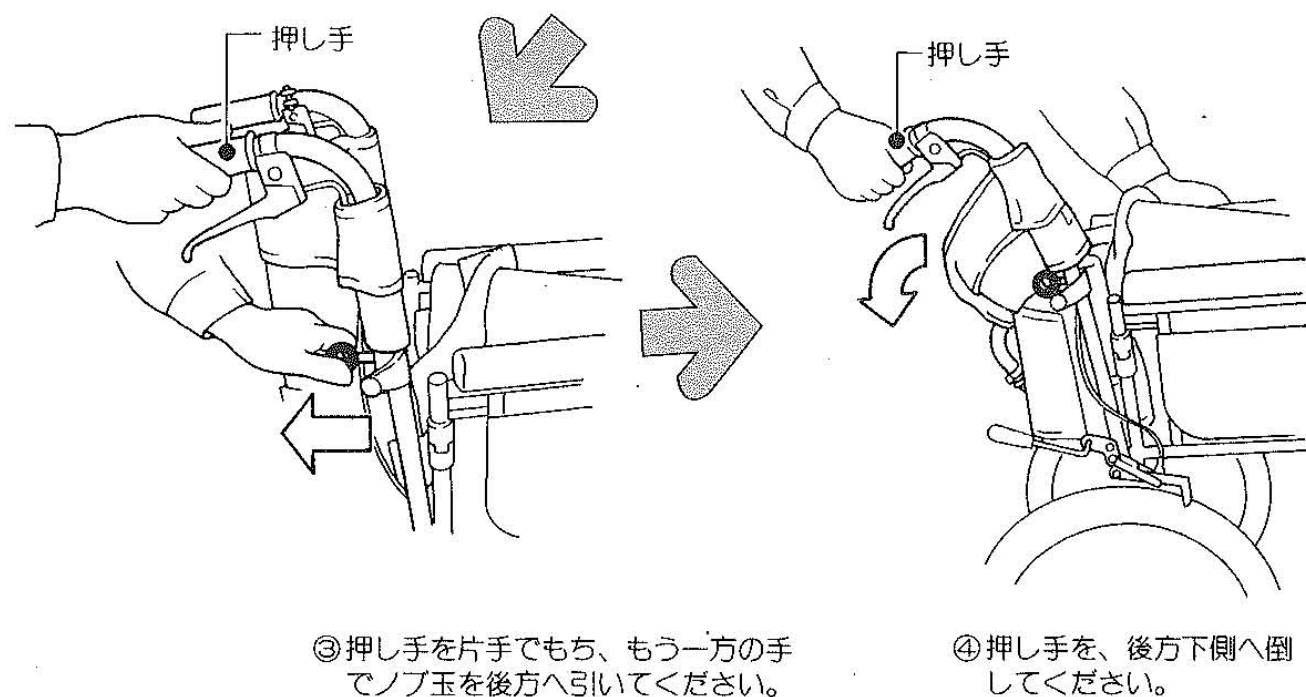
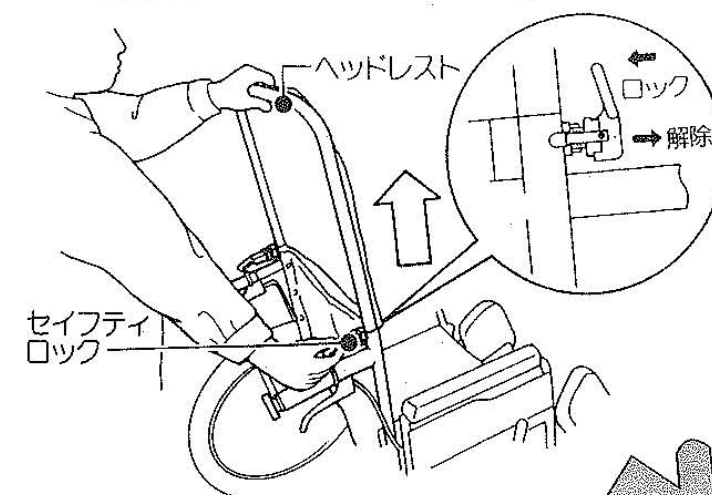
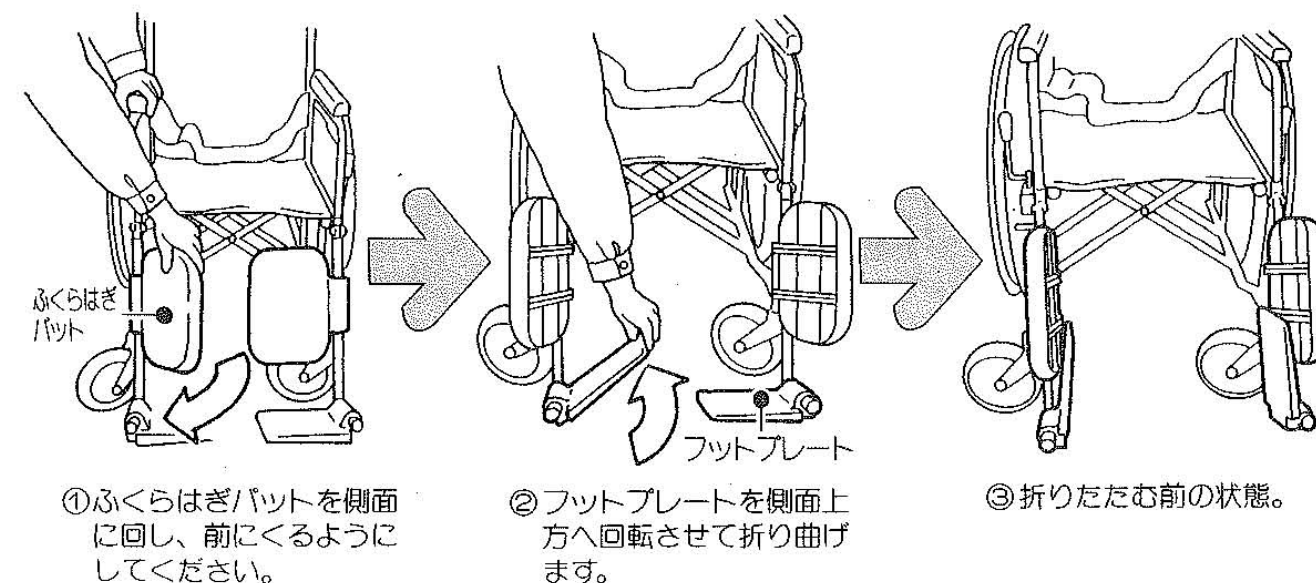
③押し手を片手でもち、もう一方の手でノブ玉を後方へ引いてください。

④押し手を、後方下側へ倒してください。

【リクライニングタイプ・エレベーティングタイプ】

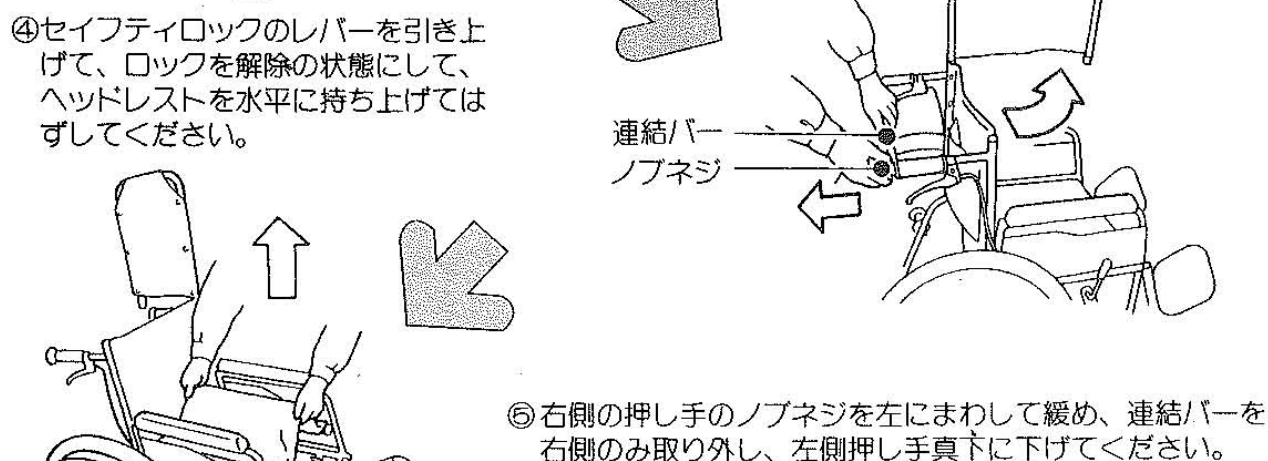
①ふくらはぎパットを側面に回し、前にくるようにしてください。

②フットプレートを側面上方へ回転させて折り曲げます。

③折りたたむ前の状態。

⚠ 注意

脱着部分で手をはさんでケガをする場合がありますので注意してください。

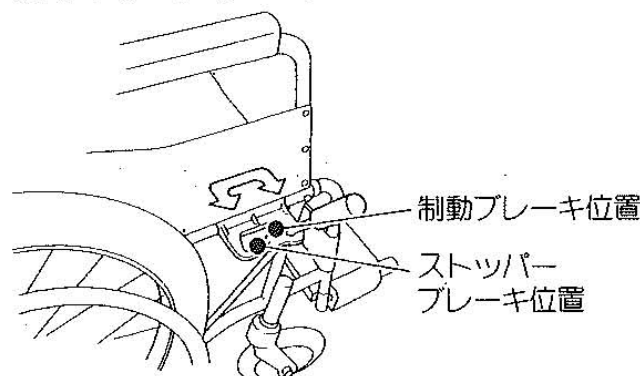
④セイフティロックのレバーを引き上げて、ロックを解除の状態にして、ヘッドレストを水平に持ち上げてはずしてください。

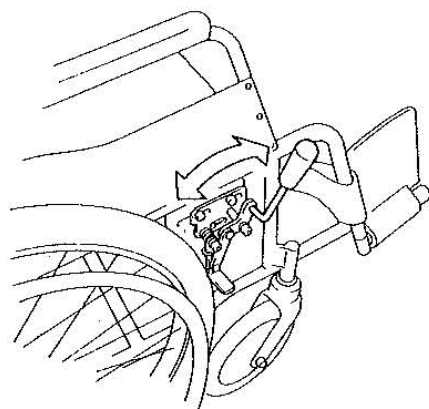
⑤右側の押し手のノブネジを左にまわして緩め、連結バーを右側のみ取り外し、左側押し手真下に下げてください。

⑥座シートの前方と後方の中央を同時に持ち上げて、次に押し手を合わせてください。

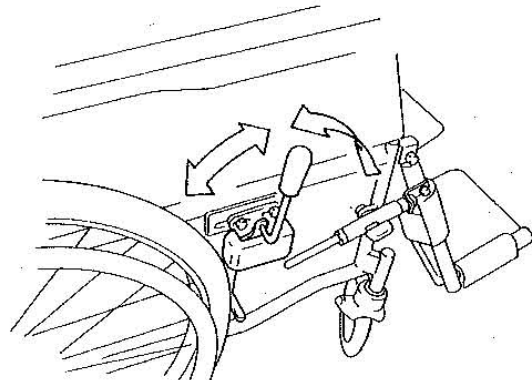
⚠ 注意

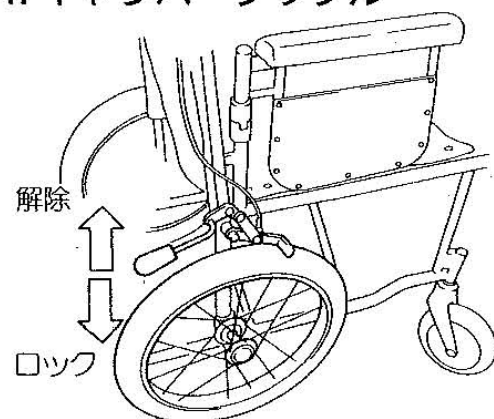
連結バーは車輪、スポークにあたらないよう確認してください。

各種ブレーキの使用方法

1. レバーブレーキ

内側にブレーキレバーを引きながら位置を変えてください。ゆるやかな坂道を降りる時、制動位置にし、坂道を降りてください。

2. タックルブレーキ

ブレーキレバーを後方に引くとロックし、前方に倒すと解除になります。

3. FBタッグブレーキ

ブレーキレバーを後方と前方に倒すとロックし、レバーを真上にすると解除になります。

4. キャリパータックル

ブレーキレバーを下に押すとロックし、上げると解除します。
必ず手で操作してください。足で操作するとブレーキが破損します。

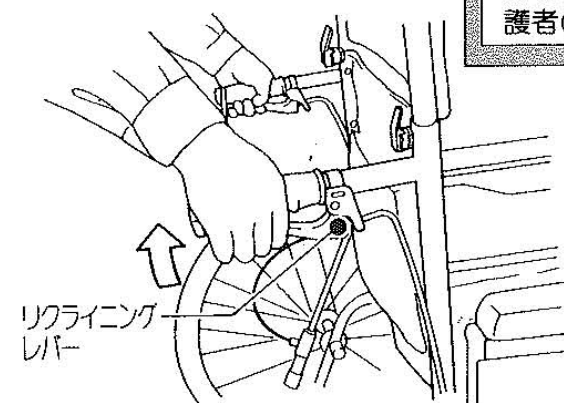
⚠ 注意

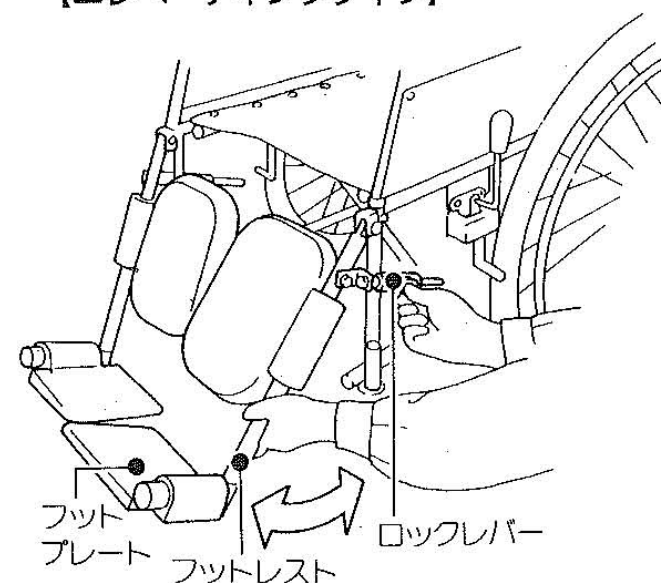
キャリパーブレーキ

走行中や下り坂での速度減速ブレーキとしてご使用ください。
レバーは介護者の方が必ず両側同時にかけてください。

各部の調整のしかた

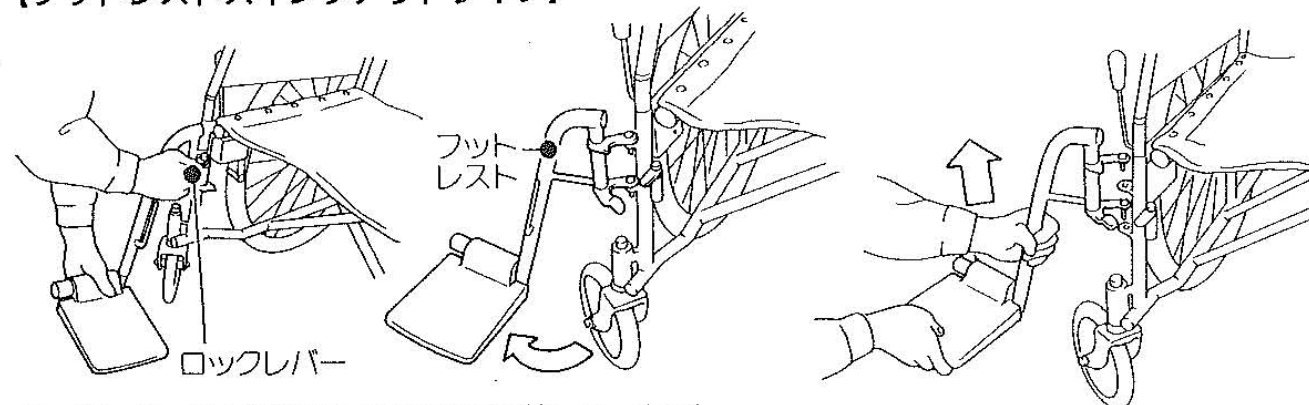
車いすに乗っている状態でレバーを握る時は、体重が後方にかかるので、しっかりささえてから行ってください。パイプで介護者の顔などを打ってケガをする危険があります。

【リクライニングタイプ】

リクライニングレバーを両側同時に握りながら倒したり、起こしたりしていただくと背もたれ角度が無段階で調整できます。レバーを離すとその位置で固定します。

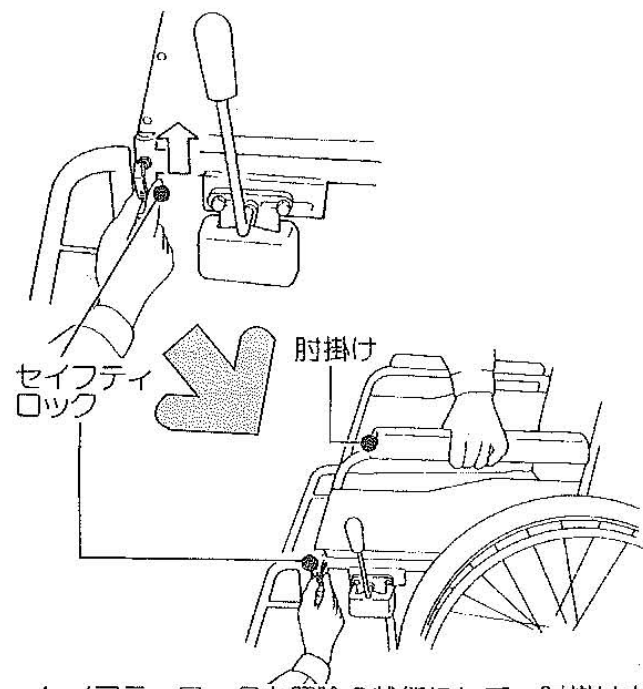
【エレベーティングタイプ】

ロックレバーを手で下に押しながら、フットレストの角度を無段階で調整できます。
レバーを離すと固定されます。
片側ずつ行ってください。

⚠ 注意

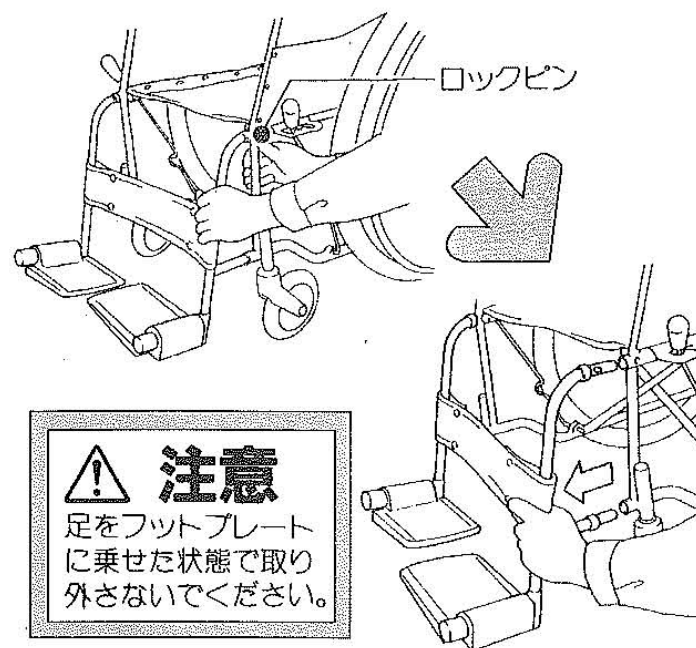
フットプレートに足が乗った状態で調整する場合、介護者は、ロック解除時、重みでフットレストが下がり手をパイプにはさんでケガをする場合があるので、しっかりささえて行ってください。

【フットレストスイングアウトタイプ】

ロックレバーを上に引き上げロックを解除して、フットレストを外側に開くように回転させ拡げます。
元の位置に戻す場合は、フットレストを内側に回転してください。ロックは自動的にできます。
ロックピンがカチッと音がして外に出ているの確認してください。

フットレストを取りはずす場合は、外側に回転した状態から上に引きあげると取れます。

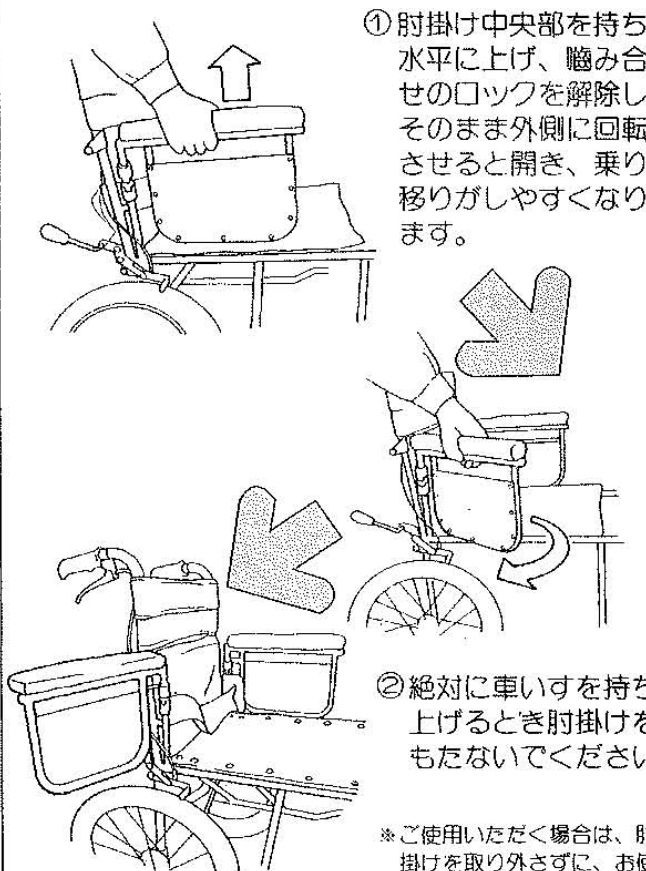
【脱着タイプ】 ●肘掛け脱着

セイフティロックを解除の状態にして、肘掛けを片方の手で持ち上げて取り外してください。
取りつけは、肘掛けを水平にしてパイプに差し込み、セイフティロックをロックの状態にしてください。
(必ずロックを確認してください。)

●押手脱着

ロックピンを確認し、親指で押さえながら、もう片方の手で押し手を上に持ち上げれば外せます。
取り付ける時は押し手方向を確認しパイプに差し込み、ロックピンを親指で押さえながら下へ押し下げてください。
必ずロックピンがカチッと外に出るのを確認してください。

●フットレスト脱着

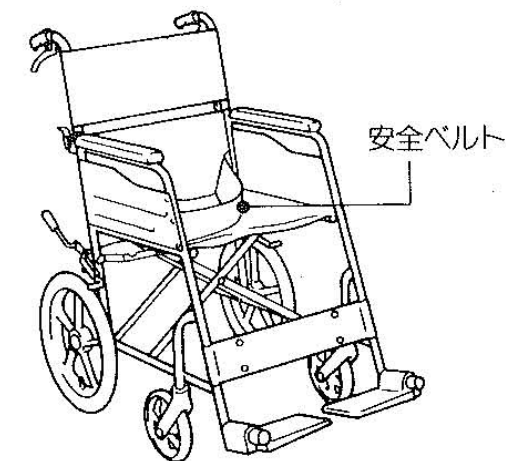
⚠ 注意
足をフットプレートに乗せた状態で取り外さないでください。

ロックピンを確認し、親指で押さえながらもう片方の手でフットレストパイプを前方へ引くと取り外せます。
取り付けはフットレストパイプを上下パイプに水平に入れ、ロックピンを親指で押さえながら入れます。

●肘掛け簡易スイングアウト式

①肘掛け中央部を持ち水平に上げ、噛み合せのロックを解除し、そのまま外側に回転させると開き、乗り移りがしやすくなります。

②絶対に車いすを持ち上げるとき肘掛けをもたないでください。

※ご使用いただく場合は、肘掛けを取り外さずに、お使いください。

【安全ベルト装着タイプ】

シートベルト装着機種は、シートベルトを必ず装着して下さい。
衝撃などで、車いすから落ちてケガをして危険です。

⚠ 注意
・シートベルトのマジックテープ式は、接着力が弱くなりますので、糸くずや汚れを取り除いて使用して下さい。
・シートベルトの脱着式は取り外さないようにして下さい。

4. 使用上のご注意

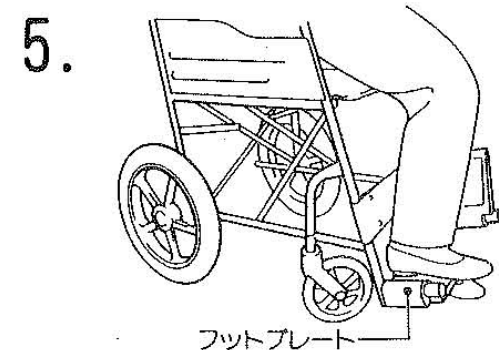
1. 使用前には、各部を点検して、ご使用ください。
タイヤ及びブレーキの摩耗がないか保守・点検し、必要があれば修理・交換をしてください。
タイヤの空気バルブは必ず締め付けておいて下さい。ゆるいと空気漏れの恐れがあります。

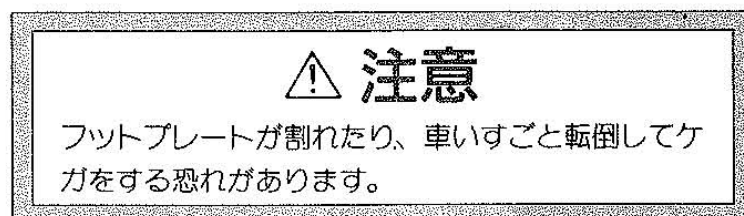
2. シートベルト装着機種は、シートベルトを必ず付けてください。

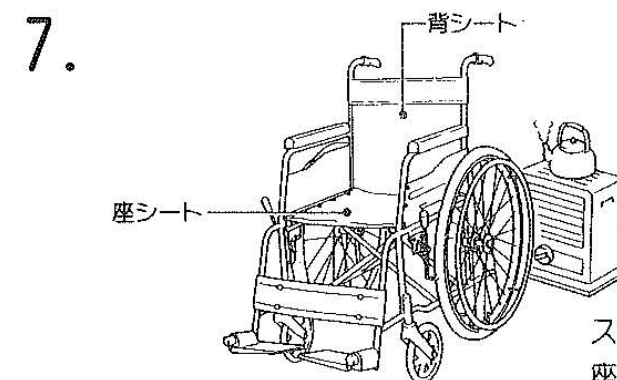
3.

車いすに、お乗りになる前や、車いすから降りられる前、ベッド等の移乗時には、必ずブレーキを掛けて、車いすが固定されている事を確認してください。車いすが動いたりして、人が転倒してケガをする恐れがあります。ブレーキの操作方法は、9ページを参照してください。

4. 調整式フットプレートにあっては、最下部の地上高さを70㎜以上にして使用してください。

5.

絶対にフットプレートの上に乗って車いすに乗り込んだり、降りるとき上に立ち上がらないでください。

> ⚠ 注意
> フットプレートが割れたり、車いすごと転倒してケガをする恐れがあります。

6. 走行中、足がフットプレートから落ちないように注意してください。

7.

ストーブなどの火気に近づけないでください。背シートや、座シートが燃える危険性があります。

8.

ティッピングバー

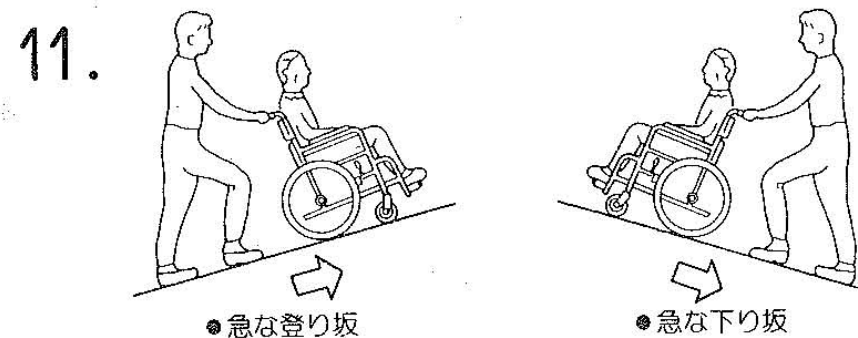
自操式車いすや、介助式車いすで歩道の縁石などの段差に乗り上げる場合は、必ず介護者の方はティッピングバーを踏み、押し手を押し下げ、前輪キャスターを乗せ、次に後輪を浮かし乗り越えてください。
絶対に勢いをつけて乗りこえようとしないでください。

9. 段差や凹凸等のある路面等を走行する場合、前のめりにならないように、注意して操作してください。

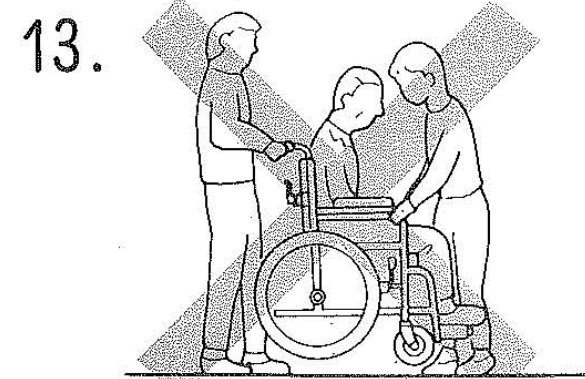
10. 踏切等の溝を越える場合、前輪キャスターを挟み込まないように注意してください。

11.

●急な登り坂

●急な下り坂

自操式車いすや、介助式車いすで急な坂道の登り下りのときは必ず介護者の方に支えていただき行ってください。

12. 傾斜面での走行、または駐車には十分注意してください。

13.

車いすに乗ったまま吊り上げる時は、介護者の方は、車いすと平行に立ち、前側は、ベースパイプを持ち、4～5人で支えながら行ってください。

背もたれ折りたたみタイプの車いすの場合は、押し手を持って吊り上げないでください。背折れ部が破損し危険です。

14. 走行中、身体を乗り出したりして、走行の安定性を損なうことのないよう注意してください。

5. 各部寸法表

※改良のため、予告なしに仕様等を変更する場合があります。

形式＼各部	自操	介助	大車輪 キャスター車輪	座幅	後座高	前座高	肘パット高さ	背もたれ高さ	フットレスト長さ	座奥行	全高	全長	全幅	折りたたみ幅	重量
F-1	○		5×22	380、400	410	430	215	380	300	400	840	950	650	340	11.0
F-2	○		5×22	380、400	410	430	215	380	300	400	840	950	650	340	11.0
F-10		○	6×12	380、400	430	450	215	380	300	400	860	940	570	250	8.5
F-11		○	6×12	380、400	430	450	215	380	300	400	860	940	570	250	8.5
CM-1	○		7×24	380、400、420	450	470	230	400	330	400	890	1,060	635	330	18.0
CM-2	○		7×24	380、400、420	450	470	230	400	330	400	890	1,060	635	330	18.0
CM-3	○		7×24	380、400、420	450	470	235	400	330	400	890	1,060	635	330	18.0
CM-5	○		7×24	380、400、420	450	470	230	400	330	400	890	1,060	635	330	19.0
CM-10	○		6×24	380、400、420	430	450	235	400	330	400	880	1,040	635	340	17.0
CM-11	○		6×24	380、400、420	430	450	235	400	330	400	880	1,040	635	340	17.0
CM-12	○		6×24	380、400、420	430	450	240	400	330	400	880	1,040	635	340	17.0
CM-13	○		7×22	380、400、420	400	430	230	400	300	400	840	1,040	635	330	17.0
CM-14	○		7×22	380、400、420	400	430	230	400	300	400	840	1,040	635	330	17.0
CM-15	○		7×22	380、400、420	400	430	240	400	300	400	840	1,040	635	330	17.0
CM-16	○		6×22	380、400、420	375	400	230	400	300	400	820	1,010	630	330	16.0
CM-17	○		6×22	380、400、420	375	400	230	400	300	400	820	1,010	630	330	16.0
CM-18	○		6×22	380、400、420	375	400	240	400	300	400	820	1,010	630	330	16.0
CM-20	○		7×24	380、400、420	450	470	225	400	330	400	900	1,060	635	315	19.5
CM-21	○		7×24	380、400、420	450	470	240	400	330	400	900	1,060	635	315	19.5
CM-22	○		7×24	380、400、420	450	470	225	400	380	400	910	1,060	645	325	20.0
CM-23	○		7×24	380、400、420	450	470	240	400	380	400	910	1,060	645	325	20.0
CM-25	○		7×24	380、400、420	450	470	230	400	380	400	890	1,060	635	335	19.0
CM-29	○		6×22	380、400、420	370	390	230	400	330	400	820	1,020	635	320	17.0
CM-30	○		6×22	380、400、420	370	390	230	400	330	400	820	1,020	635	320	17.0
SCT-50	○		6×20	300、330、360	395	420	180	370	370	370	810	890	560	300	15.5
CM-50	○		7×24	400	450	470	225	830	380	400	1,270	1,140	645	330	25.0
CM-52	○		7×24	400	450	470	225	830	380	400	1,270	1,140	645	330	25.0
CM-54		○	7×16	400	450	470	225	830	380	400	1,270	1,070	560	230	21.0
CM-56		○	7×16	400	450	470	225	830	380	400	1,270	1,070	560	230	21.0
CM-70		○	7×16	380、400、420	440	470	240	380	310	400	860	950	570	250	15.5
CM-71		○	7×16	380、400、420	440	470	240	380	310	400	860	950	570	250	15.5
CM-73		○	6×12	380、400	430	470	210	400	380	400	890	940	550	210	11.0
CM-73 キャリパー付		○	6×12	380、400	430	470	210	400	380	400	890	940	550	210	11.0
CM-74		○	6×12	400	440	470	200	410	330	400	900	920	600	400	12.0
CM-80	○		5×22	360、380、400	375	395	225	380	300	400	800	980	630	300	14.0
CM-81	○		5×22	360、380、400	375	395	230	380	300	400	800	980	630	300	14.0
CM-84	○		5×22	380、400	380	400	230	400	300	400	820	980	630	320	13.0
CM-85	○		5×22	380、400	380	400	235	400	300	400	820	980	630	320	13.0
DM-80	○		7×24	420(380、400)	440	470	245(225)	400	310～	400	880	1,035	620	300	16.5
DM-90	○		6×24	420(380、400)	440	470	245(225)	400	310～	400	830	1,020	620	310	16.0
ST-2	○		7×24	380、400、420	440	470	245	400	310	400	890	1,060	600	300	18.5

6．車いすのお手入れの方法

- ボルト、ナット、ビス類のゆるみや、フレームなどのゆがみ、ガタつきを点検のうえ、ゆるみがあれば元通り締めてください。
- タイヤの空気圧300kpcは、適正に保ってください。空気圧が少ない場合補充してください。
- 清掃は濡れた布で、泥やホコリを拭き取った後、乾いた布で拭き、仕上げにサビ止防護の為に潤滑剤をかけていただくと、美しく長くご使用できます。

7．保証

- 保証期間は、お買い上げ後1ヵ年です。（本体、付属品共）

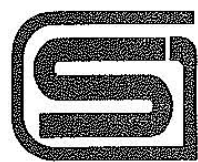
ただし、次の場合は、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。

1. 火災、天災による故障・損傷の場合
2. 取扱説明書に記載の使用方法、ご注意に反するお取扱いによって発生した故障の場合
3. 無断仕様変更及び、改造による故障の場合
4. タイヤの磨耗、パンク、シートのやぶれ、ブレーキ、リクライニング用ワイヤー、ブレーキゴム等の消耗品、及び各部の劣化による故障、損傷の場合
5. 修理に要した運賃等の諸経費
6. この保証書は日本国内のみ有効です。

8．アフターサービス

万一故障の場合は、お買上げいただきました販売店、または松永製作所へ保証書ご持参の上、修理をお申しつけください。

9．SGマークについて

- SGマーク制度は、車いすの欠陥によって発生した人身事故に対する賠償制度です。
- 車いすに表示してある使用者最大体重は、積載物も含んだ重さであり、体重制限を守って使用してください。

（SGマークつき製品の特長）
- 安全性が確保されています。
- 誤使用を防ぐために取扱説明書がついています。
- SGマークつき製品の欠陥により、人身事故が起きた場合は、賠償措置を実施します。

株式会社 松永製作所
〒503-1272 岐阜県養老郡養老町大場484
TEL0584-35-1180(代) FAX0584-35-1270
URL http://www.matsunaga-w.co.jp